

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援サポートniconico		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 16日		R8年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数) 6名	
○従業者評価実施期間	R8年 2月 16日		R8年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数) 6名	
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭的に受け入れ、お子様と保護者の心の安定をはかり、個々の発達段階に応じた丁寧な個別支援がで来ている	職員間の情報共有を密にし、支援内容の向上と一貫性の向上を図る。保護者との日々の連絡を通じ、信頼関係の構築に努める	研修の充実と情報収集を行い、今後の支援に活かしていく
2	手作りの給食を提供し、安心安全な食育を実施している。個々の好みや状態に合わせて、食事提供を行っている	敷地内の畑や地域の野菜を積極的に取り入れ、クッキング等、子どもたちにも調理の体験のチャンスを提供して、食への興味関心を高めている	食事の楽しさ、大切さを伝えられるように、メニュー等を研究を重ね、内容の充実を図り、保護者の給食参観を実現したい
3	安心できる環境と温かい関わりの中で、遊びや体験を通して子どもの主体性と意欲を育てている	特に自然の中での遊びや体験活動を積極的に取り入れ、主体性を引き出している	活動内容の見直しを行い、発達に応じた支援の質の向上を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有の方法、支援の方針など改善に努めているところである	開所して間もなく外部との関わりが少なく感じている	職員間との連携、保護者への情報発信研修により専門性の向上に努める
2	保護者同士の交流の機会を設けられていない	開所して間もないこともあり、職員と保護者との信頼関係構築を重視していたこともあり、保護者同士の交流機会を設けられていなかった	保護者会等の開催、ペアレントトレーニング講座の開催、親子遠足など保護者が参加しやすい機会を提供していく
3	地域や関係機関との連携の強化	地域の方や外部関係機関との関わりが少なく感じている	他事業所への見学、訪問などの実施は進めており、さらに進めていきたい